

縁	世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年 9月19日 第 34 号 校長 大坂 崇		教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
	社会性の学び		知的な学び	心と体の学び	
	自他の尊重 地域貢献		主体的な学び 学習の定着	心身の健康	

## 組織の力を高める(前)

## 平等・正義・正論は価値観で異なる

### エピソード①

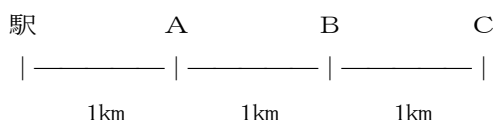
A君、B君、C君の3人は映画を見に行った帰りに、急に雨が降ってきたので、駅からタクシーを相乗りして帰ることにしました。

初乗り運賃は600円です。

3人は、駅から一番遠いC君に支払いをしてもらい、翌日清算することにしました。

C君は家についた時、900円を払いました。

<駅から3人の家までの位置関係>



翌日、3人で清算するため、話をしています。

C君：3人で乗ることに決めたのだから、

900÷3で、みんな300円ずつね。

A君：いや、僕は1km、B君は2km、C君は3km乗ったのだから、みんなで1+2+3で6km乗ったことになる。

900÷6で1kmあたり150円。

僕は1kmだから150円、B君は2倍だから300円、C君は3倍だから450円だよ。

B君：いや、初乗り運賃は全員で乗ったんだから3人で割り勘、そのあとの300円の加算料金は、C君の言ったように距離割にしないと。

初乗り運賃は600÷3で1人200円。

加算料金は900-600で300円。

300÷6で1kmあたり50円。

だから、A君は1kmで200+50で250円、

僕は2kmだから200+50×2で300円、

C君は3km、200+50×3で350円だよ。

みんなの意見がまとまらず、3人で困ってしまいました。

### エピソード②

P君、Q君、R君、S君の保護者の方が、「給食は1食300円。安くて、健康のバランスの取れた食事が日替わりで、とても助かる。」など、給食のことで雑談をしています。話題が、給食費のことに変わりました。

Pさん：給食費は、みんな同じ金額を払うので平等ね。

Qさん：ヨーロッパでは、家庭の収入に応じて給食費を支払うようですが、この方が平等な感じがします。

Rさん：うちの子は体が小さいので、体の大きさに合わせて給食費を支払うのが平等に思えるんだけど。

Sさん：それに近いけど、体が小さくてもよく食べる子もいるので、食べる量に合わせて支払うのが平等な気がするわね。

私たちが何気なく使う「平等」という言葉。

実は、個人の価値観と密接に関係します。

自分が「平等」と考えても、他人の価値観では「平等」と思わないことがあります。

だからこそ、コミュニケーション力、相手の価値観を理解する柔軟性が、現代社会では求められるのだと思います。

新型コロナウイルスのワクチンの配分や貧困の問題、価値観の違いによるいろいろないさかい。

「平等」は、ある面「正義」と似た面があります。

(「正義」の考え方も様々です。)

生徒が「様々な価値観を他者と共有」し、「その中でより良い改善策を模索できる力を身につけること」がこれからの時代に必要だと思います。

さて、この2つのエピソード、皆様の考えは、誰(A～C、P～S)に近いでしょうか・・・？。

だからこそ、教員も(確実な根拠がある場合を除き)、自分の意見が「絶対正しい」と考えない習慣を

◎「コミュニケーションプログラムの研修」では「原則」とされること。

「人が正しい」と考えていることは、その人の経験上「脳」が判断しているにすぎない。

「脳の判断は個々に違い、環境や対人関係や成育歴で変わる」ことが、科学的に証明済み。また、「自分が絶対正しい」と主張すると、「協働的」「建設的」に意見はまとまらない。